

Museu de Fotografia da Madeira – Atelier Vicente 's

について



1865年にVicente Gomes da Silva (1827-1906) によって買収された、ポルトガルで2つしかない19世紀の写真スタジオの1つを拠点とする美術館。そのコレクションには、シナリオ、カメラ、特殊な家具、オリジナルの写真が入ったフレーム、写真技法に関する本、約150万部の貴重な写真アーカイブが含まれています。コレクションは1850年代にさかのぼり、映画に関するセクションもあります。

オリジナルのアトリエは、その写真作品によって2つの重要な栄誉を受けました。その1つは1866年のことで、ゴメス・ダ・シウバ (Gomes da Silva) が撮影したエリザベス皇后 (通称「シシー」) のポートレートを受けたもので、オーストリア＝ハンガリー帝国によって付与されました。1903年、彼の息子であるピセンテ・ジュニアは、ポルトガルのカルロス1世 (1863-1908) とオルレアンのアメリー女王 (1865-1951) の写真記録を収めたことにより、「ポルトガル王室の写真家」の称号を授与されました。

1970年代まで4世代にわたって営業を続けました。マデイラ地方政府は1979年にスタジオの全コレクションを取得し、1982年3月22日にはもう美術館として発足していました。2014年に再認定工事のため閉鎖され、2019年7月に再開されました。元のアトリエの記憶を維持することに加えて、それは現在、完全に写真に特化した唯一の国立美術館として認められており、マデイラの写真遺産に加え、今日まで知られていなかった多くの写真家や作品に光を当てました。

美術館のコレクションの中には、ピセンテのコレクションだけでなく、他のプロ写真家やアマチュア写真家のコレクション、地域の観光交通局の視聴覚資料もあります。この形式では、アトリエの再構成に加えて、美術館は、ダゲレオタイプから最初のカラー写真まで、途中で幻灯機や立体鏡を紹介しながら写真プロセスの歴史を紹介します。常設展示スペースには、19世紀と20世紀の事実上すべての素晴らしいマデイラ写真家の所蔵品が含まれています。特別展では定期的に新作を展示しています。

問い合わせ先

Rua da Carreira, 43 9000-042 Funchal

電話: (+351) 291 145 325

Eメール: mfm-avicentes@madeira.gov.pt

ウェブサイト: <https://cultura.madeira.gov.pt/museu-de-fotografia-da-madeira-atelier-vicente-s>

ソーシャルネットワーク <https://www.facebook.com/mfmvicentes/> <https://www.instagram.com/museufotografiamadeira/>

特色とサービス

ショップ

ガイドツアー

バリアフリー案内

身体の不自由な方でもアクセス可能

バリアフリー入口

- 全部